

映画化で注目！

滝口康彦作品

10月15日に公開される映画『一命』（主演・市川海老蔵、瑛太）は、三池崇史さんが監督を務めたヒューマンドラマで、カンヌ映画祭にも出品されました。

この原作である『異聞浪人記』の著者が、多久で執筆活動を続けていた時代小説家の滝口康彦さん。今、映画化で注目の滝口康彦さんと県立図書館での展示会を紹介します。

滝口康彦さんの略歴

- 1924（大正13年） 3月、長崎県佐世保市万津町生まれ
- 1933（昭和8年） 多久市へ移る
- 1953（昭和28年） 炭鉱に就職。働きながら執筆活動
- 1958（昭和33年） 『高柳父子』が直木賞候補に挙げられる
『異聞浪人記』がサンデー毎日大衆文芸賞を受賞
- 1959（昭和34年） 『綾尾内記覚書』でオール読物新人賞を受賞
- 1962（昭和37年） 松竹映画『切腹』（原作『異聞浪人記』監督・小林正樹、主演・仲代達矢）封切り
『かげろう記』で2度目の直木賞候補
- 1967（昭和42年） 『上意討ち・拝領妻始末-』（原作『拝領妻始末』監督・小林正樹、主演・三船敏郎）映画化
『霧の底から』で3度目の直木賞候補
大阪新歌舞伎座等で『上意討ち』上演
- 1972（昭和47年） 『仲秋十五日』で4度目の直木賞候補
- 1973（昭和48年） 『日向延岡のぼり猿』で5度目の直木賞候補
- 1978（昭和52年） 『主家滅ぶべし』で6度目の直木賞候補
- 1985（昭和60年） 多久市文化連盟芸術文化功労賞を受賞
- 2004（平成16年） 急性循環不全のため死去

佐賀が生んだ作家～滝口康彦～ 映画『一命』公開記念

映画公開を記念して、県立図書館で滝口康彦展が行われます。

期間 9月1日(木)～10月25日(火)

場所 県立図書館1階 展示ホール

展示 滝口康彦さんの略歴

作品（本）展示

映画『一命』の紹介とポスター展示

開館時間 9時～20時

休館日 9月28日～10月4日

『一命』のカンヌ映画祭出品
宣伝用ポスターを抽選でプレゼント！

■問い合わせ 佐賀県立図書館 ☎24-2900

『滝口康彦文学碑』ご存知ですか？

滝口さんがよく通っていた市立図書館があった西溪公園に2007年12月、『滝口康彦文学碑』が完成。滝口さんにゆかりの



ある俳優の仲代達矢さん、小説家の古川薫さん、佐木隆三さんらとともに大勢のファンが参列し12月19日に除幕式が行われました。

◀仲代達矢さんらが除幕

市長コラム

温|故|創|新|

Message for citizen

孔子直系子孫の初対面

市長 横尾俊彦

孔子は世界史でも最も著名な人物のひとつといえる。哲学者、教育者、為政者などの多面的な人生を経て、今日の私たちにも有徳有益な教えを垂れたことは広く知られる。教えは『論語』などの古典として後世に伝わり、その根底には「仁とは人を愛すること」「恕とは、自分が欲しくないことは他人に為さないこと」などのヒューマニズムがあり、21世紀に必要な教訓として響く。

孔子直系77代子孫は孔徳成先生（台湾在住）だったが3年前に逝去され、その姉君で多久にも来訪された孔徳懋（とくぼう）女史（北京在住）から電話を頂いた。既に78代は他界され、孔家継承を案じられていたが、「79代は正式に孔徳成の孫・孔垂長（すいちよう）氏に決まった」との喜びの報告だった。そして「79代との初対面の際にはぜひ多久市長に同席してほしい」と仰った。

孔垂長氏は凛々しい37歳。台湾総統府国策顧問でもある。初めて訪中し、孔子生誕地の曲阜を訪ねて大歓迎を受け、先祖の墓参をされた。大陸に渡るにも複雑な心境もあったご様子。祖父の姉・徳懋女史との北京での初対面を大いに喜ばれた。徳懋女史は95歳。すこぶるお元気で、孫を迎えるように温かい笑顔で歓迎された。歓談後に徳懋女史から「初対面を支えて頂き、多久市長に感謝」と何度も何度も謝辞を頂き、恐縮した。

曲阜市と友好都市の多久市としては、孔子直系子孫の方々の御縁も大切に、厚い絆を育み、「孔子の里」充実と発信に努めたい。